

平成20年度 『笠原の森』活動報告

笠原の森(上原・森下地区樹林地)では、平成20年11月4日から平成20年12月16日までで計4回樹林整備活動が行われ今年度の活動は終了しました。笠原の森では笠原中学校の2年生96人が活動に参加しました。

笠原中学校のテーマ

- ・昨年度の取り組みの成果を生かし、自然に親しみ、自然について考え、自分の手足を動かして、自然(森)に直接働きかける。
- ・生徒が考えて生徒が決めて生徒が準備したことを生徒がやる。

第1回活動
学習会
H20. 11. 4

学習会では2年目ということで前年度の復習をし、今年笠原の森の活動で何をやれば森の為になるのかを自分たちで考える事が出来ました。



笠原の森の復習の様子

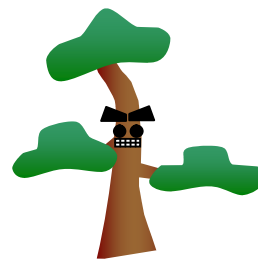


密集した木の体験



学習会を終えての感想

- ・笠原の森は健康に見えたが40%は不健康だったのでびっくりした。
- ・昔ははげ山だったとは初めて分かった。
- ・色々な問題が分かったのをそれを参考に整備をしていきたい。
- ・木が密集して成長しにくい事が分かった。
- ・湿っているところが好きな植物や明るいところが好きな植物がありむやみに木を伐採するのではなく植物のことを考えて整備したい。



笠原の森の成果発表

野外活動

ベンチ班



伐採班



歩道班



笠原中学活動写真

看板班



カンアオイ



カサモリーフです。

観察会



第4回活動では観察会が行われ、林外気温、林内気温、照度、毎木調査等を岐阜大学の学生から学びました。

第2・3回野外活動では歩道班・ベンチ班・看板班・カンアオイ班・伐採班でそれぞれ森林の中を整備しました。活動の中で笠原の森のマスコット「カサモリーフ」が誕生しました。

土岐川流域グリーンベルト整備事業は、多治見市・土岐市の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先
国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町6-34
TEL : (0572) 25-8024
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>